

今週（5月15日から5月19日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、当座預金残高が350兆円近辺での推移となった。無担保コールO/N加重平均レートは、積み最終日の15日こそ▲0.033%と高めであったものの、16日以降は新しい積み期間に入ったことで、全般的に慎重姿勢から低下し、▲0.05%近辺での推移となった。

今週のコール市場は積み最終日の取り調整により、15日は幅広い業態で取り上がりの展開となり、出合いのレンジは▲0.04~▲0.03%で推移した。新しい積み期間に入った16日以降は調達意欲が弱く、週を通してレート低下基調での推移となった。地銀業態▲0.04%、証券業態▲0.06~▲0.04%、都銀・信託業態で▲0.065~▲0.06%の調達希望で、週末の19日は3日積みの警戒感が見られたものの、一部では取りあがる動きも散見された。ターム物は地銀業態を中心に出し調整の動きが多く見られ、オファーサイドは積極的であったものの、ビッドサイドは全般的に慎重姿勢で、出合いは少なく閑散であった。

固定金利方式による共通担保資金供給オペは18日に2W物・8,000億円がオファーされ、1,840億円（期落ち額1,740億円）と札割れとなったものの、期落ち額に対し若干上回る結果となった。

●レボ市場

今週のGC O/N物は、概ね▲0.095~▲0.060%程度の水準で推移した。15日のS/N(5/17-5/18)、16日のS/N(5/18-5/19)、17日のS/N(5/19-5/22)は▲0.095~▲0.085%での推移。18日のS/N(5/22-5/23)は、短国3M物、1Y物および20年債の発行要因からファンディングニーズが強く、▲0.080~▲0.070%程度までレートを切り上げた。19日のT/N段階でもオファーは厚く、一時的に▲0.060%の出合いも見られた。金曜日のS/N(5/23-5/24)は、日銀から短国・利国買入オペが通知されたものの、業者・投資家ともにオファーが厚く、▲0.085~▲0.075%程度の水準での出合いとなった。

SC個別銘柄では、5年126~131、10年336~346、20年155~160、30年52~54、40年9などカレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、閑散ながらも堅調なマーケットとなった。新発の入札は、17日に1Y物、18日に3M物が実施された。1Y物は、WI取引で▲0.145%から▲0.152%まで買い進まれる中、平均落札利回▲0.1561%、按分落札利回▲0.1461%と強めの決着となった。3M物は、ロールニーズもあってか、WI取引で▲0.130%の出合いが見られる中、平均落札利回▲0.1287%、按分落札利回▲0.1243%と順調な入札結果となった。セカンダリー市場では、1Y物が一時▲0.165%まで買い進まれた他、6M物で▲0.134%、3M物で▲0.135%と、買入オペ期待もあってか、全般的に実勢よりややしっかりしていた。

19日に市場予想通り10,000億円で実施された短国買入オペは、応札額が30,923億円、平均落札利回較差+0.002%、按分落札利回較差+0.000%と、前回と同様に30,000億円を超える応札額となったに於いては、落ち着いた結果となった。

●CP市場

今週のCP市場は、償還総額3,500億円程度に対し発行総額は3,900億円程度と、ほぼ同水準の発行にとどまった。幅広い業態（鉄鋼・石油・小売・商社等）から大型の発行案件が見られたが、全般的に資金調達ニーズが弱く、前週に引き続き落ち着いたマーケットとなった。発行レートは、引き続き0%からマイナス圏での取引が多く見られ、ディーラーの買入需要の高まりからか、マイナス水準が深まるなど、強めの取引も見られた。

17日にはCP等買入オペが、オファー額2,500億円で実施され、平均落札レート0.005%、按分落札レート▲0.01%と、前回（平均▲0.002%、按分▲0.005%）に比べ、平均が大幅に上昇、按分が低下する結果となった。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%）	日銀当座預金残高 （億円）
5/15（月）	19,869.85	0.035	113.40	△ 0.033	△ 0.093	3,475,900
5/16（火）	19,919.82	0.040	113.49	△ 0.048	△ 0.095	3,497,200
5/17（水）	19,814.88	0.039	112.65	△ 0.051	△ 0.090	3,505,000
5/18（木）	19,553.86	0.040	111.03	△ 0.052	△ 0.086	3,482,500
5/19（金）	19,590.76	0.035	111.38	△ 0.051	△ 0.070	3,492,300

来週（5月22日から5月26日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
5/22 (月)	4月の貿易統計(財務省 8:50)				
5/23 (火)		流動性供給 5,500億円 5/25発行			4月の米新築一戸建て販売件数
5/24 (水)	2017年国際コンファランス「金融政策：教訓と課題」にて黒田総裁講演 月例経済報告（内閣府） 3月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)	交付税借入 10,500億円 6/2借入			4月の米中古住宅販売
5/25 (木)	佐賀県金融経済懇談会にて櫻井審議委員	TB3M 44,000億円 5/29発行	40Y 5,000億円 5/29発行		1-3月期の英GDP改定値
5/26 (金)	5月都区部・4月全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 4月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)				1-3月期の米GDP改定値 4月の米耐久財新規受注

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
5/22 (月)	600	▲ 24,900	▲ 24,300	全店共通 CP買入 国債補完	▲ 1,700 ▲ 1,100 300	1,800 2,500	1,800	▲ 22,500	TB3M発行▲44000償還44000 TB1Y発行▲23000償還6400 20Y発行▲10000 変動15Y償還4500 エネルギー対策借入▲7000期日6000
5/23 (火)	0	3,000	3,000	国債買入 短国買入		3,700 10,000	13,700	16,700	
5/24 (水)	▲ 1,000	2,000	1,000				0	1,000	
5/25 (木)	▲ 1,000	▲ 5,000	▲ 6,000				0	▲ 6,000	流動性供給▲5500 国有林野事業借入▲600期日500
5/26 (金)	0	13,000	13,000	社債買入		1,000	1,000	14,000	地方公共団体への貸付 交付税借入▲10500期日10500
週間合計	▲ 1,400	▲ 11,900	▲ 13,300	—	▲ 2,500	19,000	16,500	3,200	

5/22は日銀予想、5/23以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、慎重姿勢が継続し、無担保コールO/N加重平均レートは小幅にレートが低下することが見込まれる。

短国市場は、25日に3M物の入札が予定されている。短国買入オペが減少する中、積極的な買い手も居ないことから、落札レートは横ばいから小幅上昇も予想される。26日に実施が見込まれる短国買入オペのオファー額は0.5兆円程度になると予想する。

CP市場は26日にC P等買入オペが2,500億円でオファーされる予定となっている。発行額の積み上げが盛り上がり欠ける中、どの程度の水準で決着するか注目が集まる。

主要なイベントとしては、国内では26日の4月の全国CPI、海外では25日の1-3月期の英GDP改定値、26日の1-3月期の米GDP改定値などが挙げられる。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入